

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【九州ルーテル学院大学】

＜教育課程審査＞

- ① 授業科目「小学校英語」のシラバスについて、外国語コアカリキュラム「(1) 授業実践に必要な英語力」の内容を扱っていることが判然としないため、扱うことが分かるよう、授業計画において明記すること。また、当該科目は「教科に関する専門的事項」に位置付けられているが、指導法を中心とした授業計画になっているため、外国語に関する専門的事項のコアカリキュラムを確認の上、教科に関する専門的事項としてふさわしい内容に修正すること。

(対応)→	・「小学校英語」のシラバスについて、外国語コアカリキュラムの(1)-1の内容に基づき内容を見直し、授業実践に必要な英語力について授業計画に明記し、全面修正した。 ・外国語に関する専門的事項のコアカリキュラムに対応した内容に修正した。(シラバス添付) (p5-6)
-------	---

- ② 授業科目「教育心理学」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラム「(1) 2) 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。」及び「(2) 2) 主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。」を扱っていることが判然としないため、扱うことが分かるよう、授業計画において明記すること。

(対応)→	・「教育心理学」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラム(1)-2)及び(2)-2)の内容に基づき内容を見直し、「乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について」及び「主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について発達の特徴と関連付け」について授業計画に明記した。 併せて、コアカリキュラム対応表を修正した。(シラバス添付) (p7-8)
-------	---

- ③ 授業科目「生徒指導論(進路指導を含む)」のシラバスについて、事項「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」の教職課程コアカリキュラム「(2) ガイダンスとしての指導」は全ての児童及び生徒を対象とした目標、「(3) カウンセリングとしての指導」は児童及び生徒が抱える個別課題を対象とした目標であるが、授業計画においてそれぞれを扱っていることが判然としないため、扱うことが分かるよう、授業計画において明記すること。

(対応)→	・「生徒指導論(進路指導を含む)」のシラバスについて、事項「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」の教職課程コアカリキュラム(2)及び(3)の内容に基づき内容を見直し、「ガイダンスとしての指導」「カウンセリングとしての指導」について授業計画に明記した。(シラバス添付) (p11-12)
-------	---

- ④ 授業科目「障害者教育総論」のシラバスについて、自立活動を扱っていることが判然としないため、扱うことが分かるよう、授業計画において明記すること。

(対応)→	・授業科目「障害者教育総論」のシラバスについて、自立活動を、授業計画に明記した。(シラバス添付) (p13-14)
-------	--